



新たに整備されるカフェのイメージ図。カフェなどの利益は公園の維持管理に利用されます

翠ヶ丘公園で社会実験

「Park-PFI」導入のため、公園利活用の需要を把握する社会実験として、様々なイベントを行いました。
今回は、その一部を紹介します。

GO TORCH 主催 合同会社UGO

新鮮で豪華なご飯が食べられる移動カフェやマルシェ、屋外ステージでの演奏やダンスのパフォーマンス、園内でお泊まりなど、誰もが笑顔になれる楽しい公園を目指して開催。参加者みんなが交流しながら、公園のポテンシャルを最大限引き出す活用方法を考え楽しみました。

「GO TORCH」は、本市が全国に誇れる「ご当地文化」を創出するという意味と、松明あかしの松明(Torch)にかけて名付けました。



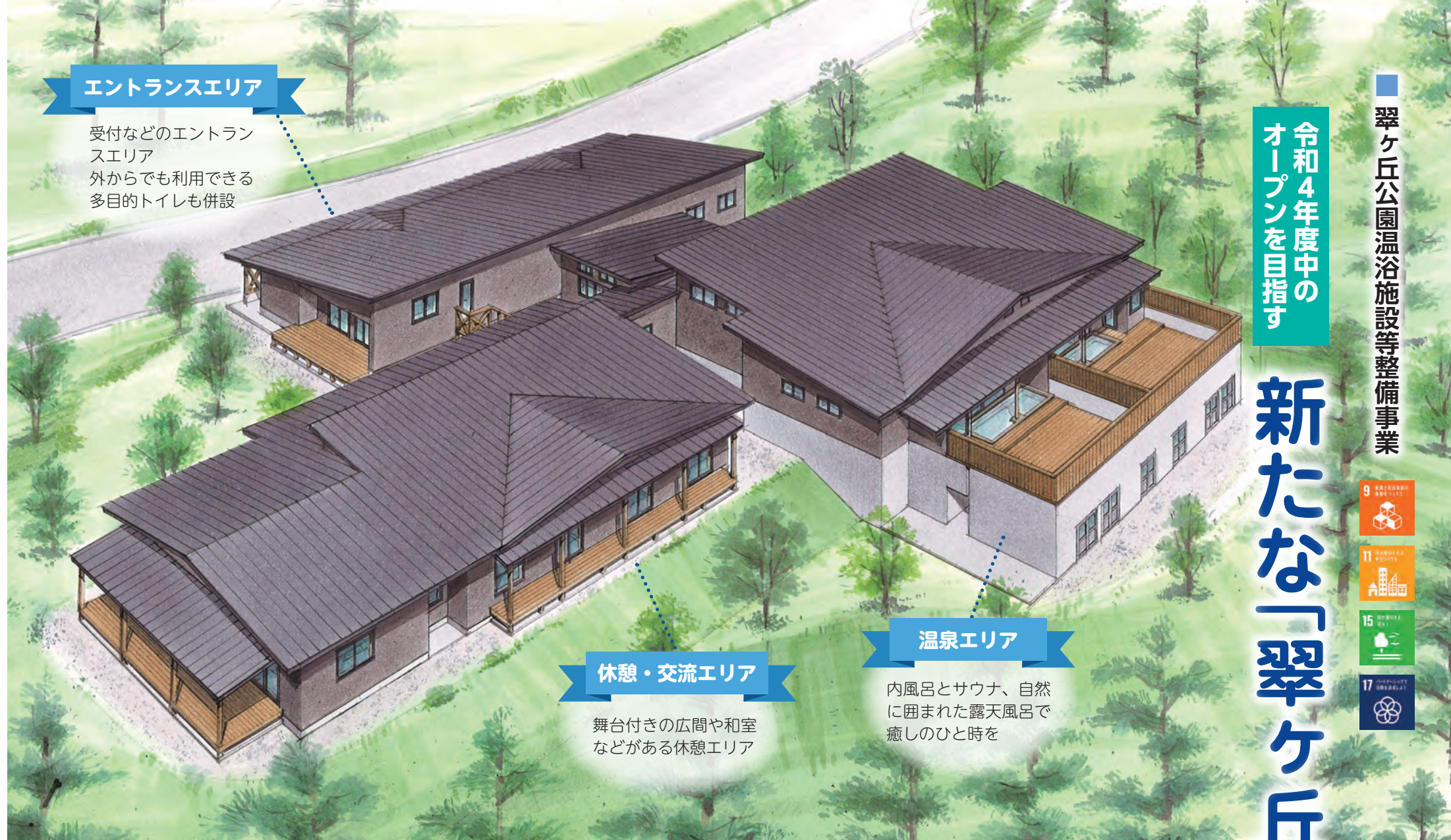
ブックガーデン

主催 日本大学工学部建築学科住環境計画研究室

自然の風を感じながら読書を楽しんでもらうため、ベストセラーの文芸作品、料理本や健康に関する本、郷土関連書籍や絵本まで、幅広いテーマで約300冊を集めました。

本棚を「憩いの広場」に設置し、ブルーシートや御座、ハンモックなどで、誰もがのんびり過ごせる場を提供しました。

子どもから高齢者まで多くの人に利用され、新たな公園の過ごし方として好評でした。



エントランスエリア

受付などのエントランスエリア
外からでも利用できる多目的トイレも併設

休憩・交流エリア

舞台付きの広間や和室などがある休憩エリア

温泉エリア

内風呂とサウナ、自然に囲まれた露天風呂で癒しのひと時を

周囲の景観に優しく溶け込む外観の「翠ヶ丘公園温浴施設」

完成イメージ図

広場
この4つを実現し、まちなかとにぎわいを循環させる交流拠点を目指します。

自然を生かすデザイン
翠ヶ丘公園では、市木のアカマツをはじめ、春の桜や秋の紅葉など、四季を通して豊かな自然を楽しむことができます。公園が持っている自然

の魅力を生かすため、施設のデザインは周囲の景観に優しく溶け込む外観とし、ユニバーサルデザインを積極的に取り入れることで、多くの人が快適に利用できる心地良い空間を目指します。

幅広い世代の人が利用しやすい、これからも市民の皆さんに愛される公園になるよう、令和4年度中のオープンを目指し整備を進めていきます。

翠ヶ丘公園は、まちなかにありながら約30ヘクタールの緑に囲まれた公園として、市民に愛され、利用されてきました。

今回、新しい整備手法である「Park-PFI」を県内で初めて活用し、翠ヶ丘公園の更なるにぎわい創出や利便性の向上、幅広い世代の人が利用しやすい公園となるように、公園内3ヘクタールの再整備を行います。

イベントやアクティビティなどの楽しみを通して人の「交流をつながり」へと進化させるため、次の整備を行います。

▼「老人憩の家」に替わる新たな温浴施設

▼飲食や物販施設

▼多目的トイレ

▼にぎわいを創出する園路や

平成元年に「日本都市公園百選」に選ばれ、多くの人に利用されている翠ヶ丘公園が、温浴施設やカフェなどを新設し、新たな魅力あふれる公園に生まれ変わります。

にぎわい創出と利便性の向上を目指して

事業コンセプトは「Fun the Green's Fun (楽しさ)でつながりFun (愛好者)になる」で、地元企業や須賀川市を愛する皆さんと協力して整備を行っていきます。

人の「交流」を「つながり」へ

Park-PFIとは、「公園の中に飲食店などの収益施設を整備し、その利益で公園の維持管理を行う事業者や団体を公募で選ぶ制度です。」

市では、令和2年度に事業案を募集し、株式会社あおいを事業者として選定しました。

Park-PFIって？

翠ヶ丘公園温浴施設等整備事業



令和4年度中のオープンを目指す

新たな「翠ヶ丘公園」へ

都市計画課 ☎(88)9156